

## 動き出した「教育研修センター」

当センターの開設については、本誌、平成 26 年 2 月号で紹介しました。今回は、当センターの直近の状況をお知らせします。

病院のホームページにも当センターのコーナーを設け、より新しい情報を掲載するように心掛けていますので、ぜひ見てください。

### 【構成】

当センターの構成は、センター長が、総合内科部長の上田豊晴。副センター長が、検査科部長の山下慶三。主たるメンバーとして、消化器内科副医長の笹岡宗史、小児科副医長の竹下佳弘、泌尿器科副医長の大塚憲司の 3 名です。

そのほかに、診療局、技術局、看護局と事務局からバックアップメンバーが数名ずつ。事務補助として、兼任の臨時職員が 3 名です。

### 【平成 26 年度の実績】

・ 診療についての医師研修レクチャーを年 11 回、院内学会を年 3 回実施・ 医療におけるノンテクニカルスキルについての院内講演会を年 4 回実施※ ノンテクニカルスキルとは、「状況認識」「コミュニケーション」「リーダーシップ」「疲労管理」など、ヒューマンエラーを避け、安全を確保していくための、現場スタッフが持つべきスキルであり、強い現場作りのために欠かせない要素です。

### 【運営】

病院で働く人がいきいきと働いていることが、医療の質を高め、それが患者さんへの良い医療の提供に繋がっていきます。そのため、当センターでは次のような体制の構築が必要だと考えています。

具体的には、「高みをめざす」「人権擁護」「期待に応える」「協調」それに「重要なことを先に」を、全職員が心掛けることが必要です。そのうえで、「何をしたかではなく、どのように振る舞ったか」で評価する仕組み、病院の運営をより良くするアイデアを、職員だれもが挙げられるような体制、病院が良いアイデアを実現しようとする体制、自分の想いを上手に人へ伝える訓練ができるようにする体制です。

また、当センターは、ほぼ同じ時期に開設された地方独立行政法人奈良県立病院機構の教育研修センターと協力して、「奈良県を挙げて総合診療医を育てるプロジェクト (All Nara プロジェクト)」を推進するとともに、教育を核に、医療施設の組織文化を改善しようとしています。

教育の質を高め、より良い病院になるよう、また、地域医療へ更なる貢献ができるよう不断の努力を続けていきます。

市民の皆さん、応援してください。

〔教育研修センター 副センター長 山下慶三〕